

科目名称：	旅行業法Ⅱ	
担当者名：	若月 博延	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
旅行業法では、国家試験である旅行業務取扱管理者試験対策の授業を行っていきます。 特に旅行業法Ⅱでは、試験科目の「国内旅行業務」の中の「ＪＲ運賃」、「国内航空運賃」を学んでいきます。		
授業の達成目標・到達目標		
国家資格試験の中では、国内地理と双璧をなす難易度のＪＲ運賃を中心に授業を行なっていきます。 また「ＪＲ運賃」に関しては、旅行業ばかりでなく、ホテル業でもその理解は求められます。 毎回該当箇所の小テストを行います。 以上を通して、「旅行業務取扱管理者試験」のうち「ＪＲ運賃」、「国内航空運賃」分野を修得することが目標です。		

ビジネス実務学科		ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。		
DP(2)	地域社会を理解し、様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化するビジネス社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。		
DP(3)	ビジネス実務の分野において、基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、各種資格取得を目指して専門性を磨き、これらを柔軟に活用していくことができる。		○

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)	50	0	50	0	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容１》	《経験年数１》
	《内容２》	《経験年数２》
	《内容３》	《経験年数３》
	《内容４》	《経験年数４》
備考		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
JR運賃・料金計算	運賃、料金共に理解し、難しい問題も理解できている	運賃、料金のいずれかは理解し、難しい問題も理解できている	運賃、料金の簡単な問題は理解できている	全く理解できていない
航空関連の知識	業界用語、略記号、取消手数料・キャンセル料について深く理解できている	業界用語、略記号、取消手数料・キャンセル料についていずれか2つ以上は深く理解できている	業界用語、略記号、取消手数料・キャンセル料についていずれか1つ以上は理解できている	全く理解できていない
貸切バスの知識	業界用語、取消手数料・キャンセル料について深く理解できている	業界用語、取消手数料・キャンセル料についていずれか2つ以上は深く理解できている	業界用語、取消手数料・キャンセル料についていずれか1つ以上は理解できている	業界用語、取消手数料・キャンセル料についていずれか1つ以上は理解できている

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 時刻表の「見方」・「読み方」・「求め方」（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	時刻表を理解しておく	30分
第2回 JR運賃・料金（規則の概要・乗車券類発売の概要）	「規則の概要・乗車券類」の練習問題で復習	60分
第3回 JR運賃・料金（運賃計算の原則・乗車券の種類）	「運賃計算」の練習問題で復習	60分
第4回 JR運賃・料金（運賃計算の特例）	「運賃計算の特例」の練習問題で復習	60分
第5回 JR運賃・料金（乗車券の効力・運賃の割引）	「乗車券効力期間・運賃の割引」の練習問題で復習	60分
第6回 JR運賃・料金（料金計算の原則）	「料金計算」の練習問題で復習	60分
第7回 JR運賃・料金（乗継割引）	「乗継割引」の練習問題で復習	60分
第8回 JR運賃・料金（山形・秋田・九州新幹線の取扱）	「新幹線の特例」の練習問題で復習	60分
第9回 JR運賃・料金（変更・取消・払い戻し）	「運賃・料金の変更・取消・払い戻し」の練習問題で復習	60分
第10回 JR運賃・料金（団体乗車券の取扱）	「団体乗車券の取扱」の練習問題で復習	60分
第11回 JR運賃・料金（特別企画乗車券・周遊きっぷ）	「特別企画乗車券・周遊きっぷ」の練習問題で復習	60分
第12回 国内航空運賃（航空券の概要・普通旅客運賃・料金）（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	「普通旅客運賃・料金」に関する練習問題で復習	60分
第13回 国内航空運賃（割引運賃・チケットレスサービス）	「割引運賃」に関する練習問題で復習	60分
第14回 国内航空運賃（変更・取消・払い戻し）	「航空運賃の変更・取消・払い戻し」の練習問題で復習	60分
第15回 まとめ、模擬試験	模擬問題での復習	60分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までのプリント（小レポート）をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、50%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。
毎回の宿題練習問題を50%で評価する。

課題に対してのフィードバック

宿題練習問題の結果を採点して返却。

教科書・参考書

この1冊で決める!! 国内旅行業務取扱管理者テキスト&問題集
毎回の授業で使用する